

No.	016	—	1001	事務事業名	地域公共交通に関する事務				公的関与	6			
PLAN	課名	都市整備課		係名	都市計画係		電話番号	089-964-4412		メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 21 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	4 まちづくりと連携した公共交通網の形成				
	事業の目的	東温市に合う公共交通体系を維持・構築しながら、住民の移動手段を確保するため。					根拠法令等	地域公共交通活性化再生法、道路運送法					
	事業の手段	東温市地域公共交通計画に沿った事業を実施します。					掲載計画	東温市地域公共交通計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標		
		公共交通情報冊子の配布とモビリティ・マネジメントの実施		配布数			世帯数	目標	30	30	30		
								実績	30	30			
		路線バス体験教室等の開催		実施数			回	目標	2	2	4		
								実績	2	0			
						目標							
						実績							
DO	活動内容	①	東温市地域公共交通計画(素案)を作成				④						
		②	公共交通情報冊子の配布や転入者への公共交通情報の積極的な情報発信				⑤						
		③	パーク&ライド用駐車場の運営										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費			
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	142 千円	3,466 千円	613 千円								
	計(A)	142 千円	3,466 千円	613 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.221 人	1,379 千円	0.221 人	1,380 千円	0.581 人	3,605 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,521 千円	4,846 千円	4,218 千円									
一次評価者	都市計画係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	計画の策定には、東温市地域公共交通活性化協議会の開催は不可欠であり、地域の問題点、東温市の公共交通の現状等を把握することに繋がりが、よりよい公共交通を目指すために必要です。												
有効性	公共交通の取組の評価を定期的実施することで、施策の見直しや改善を行うことが可能です。												
達成度	本年は計画改定の年であり、市民や交通事業者など、様々な関係者から複数の視点で、幅広い話し合いを行い、計画を策定することができましたが、利用者のニーズの聞き取りがやや不十分などがあります。												
効率性	行政、市民、事業者がそれぞれの立場の長所を活かせるような体制づくりができており、多様な視点から、幅広い協議ができています。												
当面の課題	新たな計画を策定し、これまでの維持の市政から、積極的に働きかけるよう厳しい目標値を設定しています。人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響による公共交通の利用状況は危機的であり、行政・事業者・住民三者の主体的な行動が課題となります。												
改革計画	新たに策定した東温市地域公共交通計画に基づき、行政・事業者・住民のそれぞれが主体となって、公共交通を維持・活性化に寄与できるように働きかけていきます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。先行きは非常に不透明なところがありますが、多様な主体と連携し、将来を見据えた新たな公共交通路網の整備に努めてください。												

No.	016	—	1004	事務事業名	生活交通バス路線運行事業補助				公的関与	6			
PLAN	課名	都市整備課		係名	都市計画係		電話番号	089-964-4412		メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 21 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	4 まちづくりと連携した公共交通網の形成				
	事業の目的	地域住民の貴重な交通手段である路線バスの運行を確保し、鉄道と路線バスによる交通ネットワークを維持するため。					根拠法令等	地域公共交通活性化再生法、道路運送法					
	事業の手段	交通事業者へ運行助成を行い、市内バス路線の維持を図り、地域・事業者と協働で既存の公共交通の活性化に働きかけます。					掲載計画	東温市地域公共交通計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		1便当たりの山間路線利用者数		利用者数/便数			人/便	目標 3	3	3			
		予約制乗合タクシーの運行率		利用回数/予定運行数			%	目標 1	1	1			
								実績 3	2				
								実績 1	0				
						目標							
DO	活動内容	①	生活交通バス路線等を維持するために、運行事業者に助成を行う。				④						
		②	上林地区で予約制乗合タクシーの運行を継続する。				⑤						
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	23,727千円	25,247千円	34,704千円								
	計(A)	23,727千円	25,247千円	34,704千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.221人	1,379千円	0.221人	1,380千円	0.100人	620千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		25,106千円	26,627千円	35,324千円									
一次評価者	都市計画係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	車等の移動手段がなく、公共交通が日常生活の移動手段となっている住民の生活を支えるために必要不可欠な事業です。												
有効性	地域の住民の移動手段となっている公共交通を維持・確保するために有効な事業であると考えます。												
達成度	利用状況に応じた見直しを進めながら、路線網の維持・確保を行うことができています。												
効率性	効率的な取組になるよう、定期的に路線バスの利用状況等を確認し、見直しを進めるようにしています。												
当面の課題	近年の人口減少に加え、新型コロナウイルスの感染対策に係る外出自粛や3密回避の影響を直接受け、公共交通を取り巻く環境は危機的状況にあります。												
改革計画	地域公共交通活性化の取組と連携し、市内の鉄道及びバスの幹線維持に努め、また支線については地域に適した公共交通の在り方を模索していきます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市民の移動手段の維持・確保を行うためには、各地域に応じた住民ニーズや需要等を把握し、地域に適した公共交通サービスの構築を行う必要があります。利用者のニーズを十分に分析し、更なる公共交通の維持・活性化に努めてください。												

No.	016	—	1038	事務事業名	地区計画道路整備事業						公的関与	6	
PLAN	課名	都市整備課		係名	都市計画係		電話番号	089-964-4412		メールアドレス	tosiseibi@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	令和元年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	2 安心して暮らせる市街地の整備				
	事業の目的	地区計画道路の配置により市街地としての都市基盤を担保し、地域の実情にあった良好な市街地形成を図るため。						根拠法令等	都市計画法				
	事業の手段	見奈良東地区において民間開発が予定されている区域の地区計画道路を整備する。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
				実施時期が周辺の民間開発に左右されるため。			目標						
							実績						
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	道路の測量・設計			④							
		②	用地の土地鑑定			⑤							
		③	用地の分筆図作成・土地購入・道路の工事発注										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木		費				
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	7,748千円	241千円	0千円								
		計(A)	7,748千円	241千円	0千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.422人	2,634千円	0.100人	625千円	0.000人	0千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		10,382千円	866千円	0千円									
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地区計画道路は、無秩序な市街地形成を防止し、良好な市街地環境を形成するために必要です。												
有効性	地区計画道路の配置により、健全な市街地としての都市基盤を担保できます。												
達成度	地区計画の設定区域では、地区計画の目標に沿った良好な市街地が形成しつつあります。												
効率性	民間開発と同時に施工することにより道路構造物の整備コストの低減が図られ、効率的な道路整備が可能となります。												
当面の課題	民間開発計画と調整を行い道路用地の確保が完了した時点で整備に着手することから、各路線の整備時期が不透明です。												
改計画	民間開発業者との連携を密にして、計画的な道路整備に努めます。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市の財政計画とのバランスを取りながら、無理な事業計画とならないよう開発業者と十分な調整を行い事業の推進に努めてください。												